

お 知 ら せ

件 名	平成20年度北海道開発局関係第2次補正予算について
-----	---------------------------

お知らせ内容

平成20年度北海道開発局関係第2次補正予算について、別紙のとおりお知らせします。

	所 属	役 職	氏 名	電 話 番 号
問 合 せ 先	北海道開発局 開発監理部 開発計画課	課長補佐	赤間 英樹	709-2311 内線5463
		予算第1係長	須藤 慎一	709-2311 内線5465
		予算第4係長	山本 真司	709-2311 内線5460

平成20年度 北海道開発局関係第2次補正予算について

平成20年度第2次補正予算については、新しい経済対策「生活対策」が取りまとめられたことを受け、北海道が「底力」を発揮するとともに国民の生活の安全・安心を確保できるよう、地域経済の活性化や防災強化を進めるための一般公共事業費等予算が計上されました。

(主な事業) (※具体例はP4以降参照)

- ・近年の台風災害等に対応した石狩川等における洪水対策
- ・近年の豪雨災害の被災地における土砂災害対策
- ・近年の越波災害により被災した海岸の海岸保全施設整備
- ・国際競争力に資する道路ネットワークの整備
- ・温室効果ガス対策等環境に配慮した港湾整備の推進
- ・航空輸送網の安定化・効率化のための空港整備
- ・農業水利施設の適正な更新等による農業用排水施設機能の確保対策
- ・大型低気圧、台風等による水産被害等を最小限に食い止めるための漁港施設の整備

また、公共事業の端境期における効率的な執行を確保するため、国庫債務負担行為(ゼロ国債)が計上されました。

○生活対策		うち一括配分
直轄事業	266億円	(21億円)
補助事業	59億円	(37億円)
計	325億円	(58億円)
○国庫債務負担行為(ゼロ国債)		うち一括配分
直轄事業	611億円	(95億円)
補助事業	198億円	(125億円)
計	809億円	(220億円)

平成20年度 北海道開発局関係第2次補正予算(事業費)

【直 轄】

(単位:百万円)

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
治 水	6,394	—	
海 岸	266	—	
道 路 整 備	5,630	690	
港 湾 整 備	1,470	240	
空 港	340	—	
道 路 環 境	786	786	
農 業 農 村 整 備	10,187	—	
水 産 基 盤 整 備	1,100	—	
官 庁 営 繕	418	418	
合 計	26,591	2,133	

【補 助】

(単位:百万円)

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
治 水	658	558	
海 岸	630	—	
道 路 整 備	1,862	1,662	
港 湾 整 備	30	—	
住 宅	120	120	
市 街 地 整 備	516	516	
下 水 道	762	612	
都 市 公 園	335	229	
水 産 基 盤 整 備	960	—	
合 計	5,873	3,697	

【合 計】

(単位:百万円)

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
治 水	7,052	558	
海 岸	896	—	
道 路 整 備	7,492	2,352	
港 湾 整 備	1,500	240	
空 港	340	—	
住 宅	120	120	
市 街 地 整 備	516	516	
道 路 環 境	786	786	
下 水 道	762	612	
都 市 公 園	335	229	
農 業 農 村 整 備	10,187	—	
水 産 基 盤 整 備	2,060	—	
官 庁 営 繕	418	418	
合 計	32,464	5,830	

注1 計数整理の結果、異動を生じることがある。

2 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

平成20年度 北海道開発局関係第2次補正予算(事業費・ゼロ国債)

【直 轄】 (単位:百万円)

事 項	ゼ ロ 国 債		備 考
		一 括 配 分	
治 水	8,563	65	
道 路 整 備	34,463	5,715	
港 湾 整 備	6,736	1,138	
空 港	552	—	
道 路 環 境	2,670	2,470	
都 市 水 環 境	106	106	
都 市 公 園	330	—	
農 業 農 村 整 備	5,360	—	
水 産 基 盤 整 備	2,280	—	
合 計	61,060	9,494	

【補 助】 (単位:百万円)

事 項	ゼ ロ 国 債		備 考
		一 括 配 分	
治 水	3,648	2,348	
海 岸	1,220	—	
道 路 整 備	5,890	5,550	
住 宅	170	170	
道 路 環 境	886	180	
下 水 道	4,288	3,197	
都 市 公 園	1,198	1,024	
農 業 農 村 整 備	1,091	—	
水 産 基 盤 整 備	1,446	—	
合 計	19,837	12,469	

【合 計】 (単位:百万円)

事 項	ゼ ロ 国 債		備 考
		一 括 配 分	
治 水	12,211	2,413	
海 岸	1,220	—	
道 路 整 備	40,353	11,265	
港 湾 整 備	6,736	1,138	
空 港	552	—	
住 宅	170	170	
道 路 環 境	3,556	2,650	
都 市 水 環 境	106	106	
下 水 道	4,288	3,197	
都 市 公 園	1,528	1,024	
農 業 農 村 整 備	6,451	—	
水 産 基 盤 整 備	3,726	—	
合 計	80,897	21,963	

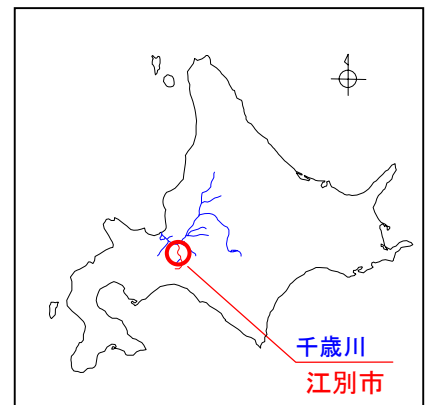
注1 計数整理の結果、異動を生じることがある。

2 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

近年の台風災害等に対応した治水対策により、安全・安心が確保された地域づくりを推進します

北海道 江別市など

北海道内では、昭和56年8月洪水により全道各地で大きな被害が発生したほか、近年においても平成15年8月、平成18年8月、10月の洪水など各地で豪雨による浸水被害等が発生し、道民の生活に多大な影響を与えています。このような集中豪雨等による災害から地域の生活・生産基盤等を守るため、江別市（石狩川水系千歳川）などにおいて、堤防整備等を実施し、安全・安心が確保された地域づくりを推進します。



【石狩川水系千歳川】

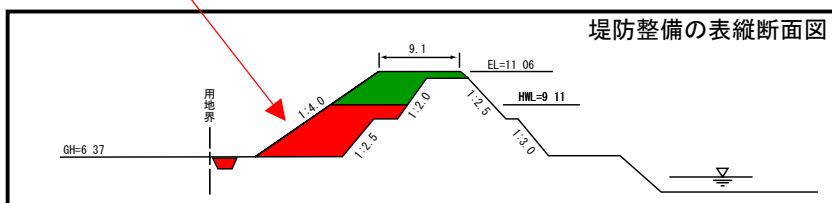


S56.8上旬洪水
江別市街地の浸水状況



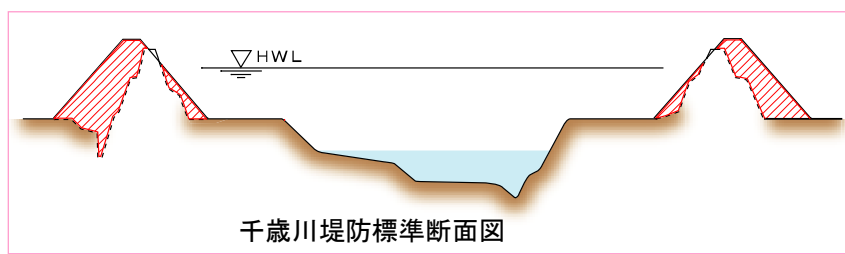
H13.9洪水の状況

堤防整備



事業効果

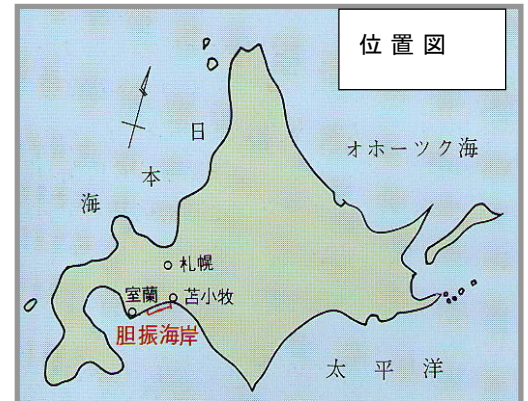
石狩川の高い水位の影響を長時間受けることに対応した堤防整備を行うことにより、洪水に対する安全度が向上します。



頻発する自然災害に対応する根幹的治水施設整備

— いぶり 胆振海岸保全施設整備事業 とまこまい (苫小牧市) —

胆振海岸は、北海道の物流の要である苫小牧港の西側に位置し、背後には重要交通網の国道36号線、JR室蘭本線が隣接するとともに、それらに面して住宅が密集しています。当海岸では、海岸侵食の進行により伴い、夏季から冬季にかけての台風や季節風による波浪災害が頻発しており、住民生活、経済活動に重大な影響を及ぼしていることから、海岸侵食対策として緩傾斜護岸を整備するものです。



波浪による越波状況



直立護岸の被災状況



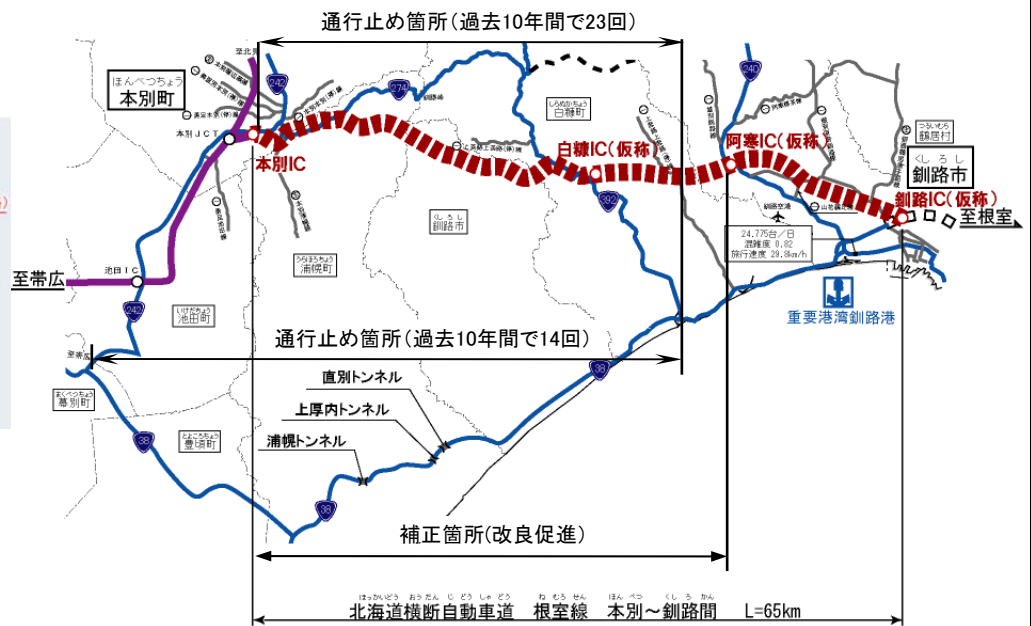
緩傾斜護岸の整備事例



ほっかいどうおうだんじどうしゃどう ほんべつ くしろ
北海道横断自動車道 本別～釧路

- ・北海道横断自動車道の札幌～釧路間(約288km)は、札幌～夕張間(約72km)及びトマム～本別間(約90km)が供用済みであり、現在、夕張～トマム間(約61km)を東日本高速道路(株)、本別～釧路間(約65km)を新直轄方式により整備中である。
- ・平成20年度補正予算により本別～釧路間の整備を促進し、国際競争力に資する道路ネットワークの早期形成を図る。

〔位置図〕



地方の活力向上と国際競争力に資する道路ネットワーク整備

〔国際コンテナ車通行支障区間〕



〔対策例〕



函館港(中央ふ頭地区)・釧路港(東港区北地区) 船舶への陸上電力供給実証実験

1. 事業概要

函館港及び釧路港において、船舶への陸上電力供給の実証実験を実施する。

2. 実施箇所

(1) 函館港 中央ふ頭地区



(2) 釧路港 東港区北地区



3. 事業効果

本事業により、船舶への陸電供給による排出ガス（CO₂、SO_x、NO_x等）の削減効果の検証が図られ、地球温暖化対策や大気環境改善が推進される。

新千歳空港貨物用エプロン新設

(直轄)

1. 概要

新千歳空港は、北海道内の航空物流の拠点として重要な役割を担っています。しかし、貨物便が使用しているスポットが貨物ターミナルビルからの距離が離れているため、荷役作業等に時間を要しています。そのため、貨物ターミナル前面に貨物専用エプロンを整備することで、荷役作業時間等の短縮による物流の効率化を推進し地域活性化を図ります。



2. 実施内容

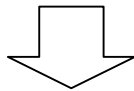
空港名：新千歳空港

実施内容：貨物用エプロン新設 1バース



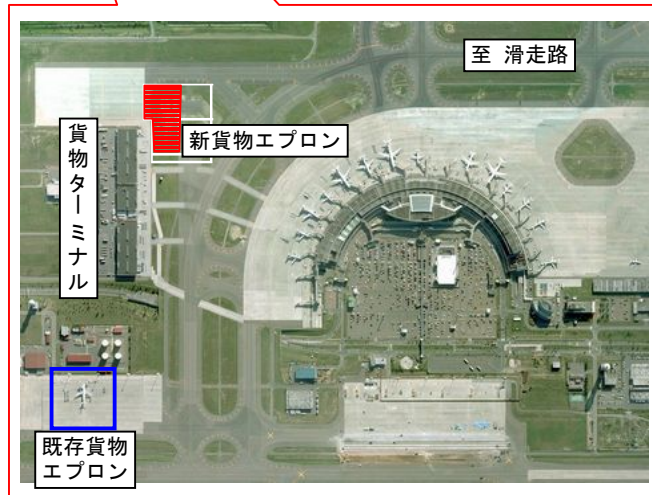
《エプロン新設により航空貨物輸送の効率化へ》

- ・ 荷役作業時間の短縮
- ・ 航空機及び地上支援車両の移動距離短縮による燃料の削減



物流の効率化に伴う航空貨物取扱量の増加を期待

航空貨物取扱状況



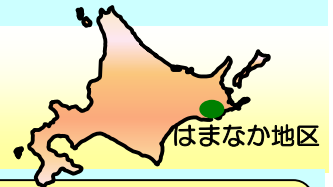
新千歳空港貨物用エプロン整備区域

農業農村整備事業

安心・安全で高付加価値な農産物の生産や食料自給率向上を図る農業水利施設及び農地整備等、地域活性化に資する事業を推進。

環境保全型かんがい排水事業

はまなか地区



家畜ふん尿による河川・湖沼・海域への影響の軽減や生息する動植物を保全するため、「水環境の改善」、「緑地環境の保全」、「生態系への配慮」を行うとともに、調整した家畜ふん尿と用水を混合し、かんがいシステムにより効率的に農地還元し、生産性の向上と環境負荷の軽減を図ります。



環境と調和のとれた クリーン農業の展開



国営農地再編整備事業

由仁地区

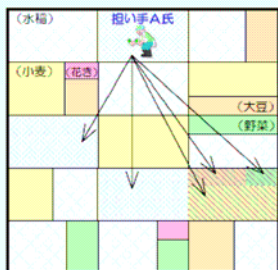


農業生産性の向上と担い手への農地の利用集積を促進するため、区画整理等の整備を行い、事業効果の早期発現を促進します。

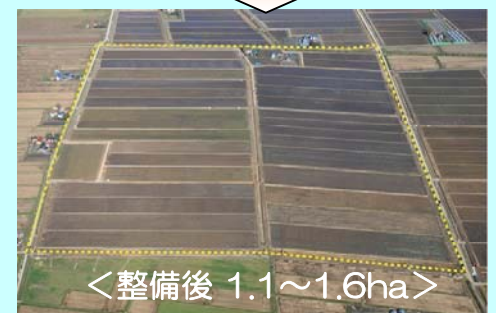
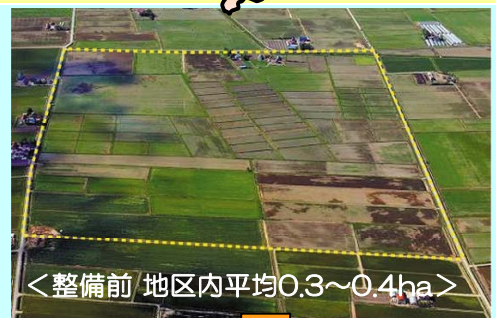
安全・良質な農産物の提供

区画の大区画化、農地の集積、営農組織化の推進、効率的な田地轉換

現状 → 耕地が分散し非効率な土地利用



計画 → 営農組織化により効率的な農業経営（担い手への農地集積）



ウトロ漁港(第4種) 特定漁港漁場整備事業

1 事業の目的

当該漁港は係船岸の不足により、漁船が輻輳しているとともに、狭隘な用地において非効率かつ非衛生的な作業を強いられていることから、作業の効率化と衛生管理の高度化を図る新港区の整備（島防波堤および埠頭）を推進しており、一部利用が開始されている。

しかしながら、当該埠頭の前面水域は、島防波堤の整備が完了していないため、漁船利用の安全性が確保されていない状況にある。

このため、補正予算の投入により、島防波堤の整備を推進し、漁船の安全性の確保とともに、衛生管理の高度化を図る新港区の早期供用を図る。

2 事業の概要

①事業箇所：北海道斜里郡斜里町

②事業主体：国

③事業内容：防波堤の延伸整備

3 平面図



4 状況写真



港内擾乱状況



港内混雑状況



陸揚時における車両等輻輳状況